

航空輸送の安全にかかわる情報の報告（平成 21 年度）（要約版）

1. 航空事故・重大インシデントの発生の概況

平成 21 年度においては、本邦航空運送事業者の運航に伴う以下の航空事故及び重大インシデントが発生。

○ 航空事故（2 件）

- ・平成 21 年 8 月 10 日、エア・ニッポン機（B737-800 型）が鳥取空港を離陸し、東京国際空港 B 滑走路に着陸したが、到着後の点検の結果、機体尾部下面に大修理相当の損傷が確認され、また、東京国際空港 B 滑走路に擦過痕が確認された。
- ・平成 21 年 11 月 29 日、日本エアコミューター機（SAAB340B 型）は、出雲空港を離陸直後、機種左側に鳥が衝突したが、計器の指示等に異常が見られなかったことから飛行を継続し、大阪国際空港に着陸した。到着後の点検の結果、大修理相当の損傷が確認された。

○ 重大インシデント（1 件）

- ・平成 21 年 7 月 23 日、ジャルエクスプレス 2200 便（DC-9-81 型）は大阪国際空港 B 滑走路へ着陸後許可を得ないまま A 滑走路を横断し、当該滑走路に進入中であった日本エアコミューター 2400 便（DHC-8-402 型）が管制の指示により着陸復行した。

2. 航空法第 111 条の 4 の規定による報告の概況

平成 21 年度においては、本邦航空運送事業者から、航空事故 2 件、重大インシデント 1 件^{注 1)} 及び安全上のトラブル 884 件の合計 887 件について報告。

注 1) 平成 21 年 7 月 23 日に発生した事案(重大インシデント)は、日本エアコミューターとジャルエクスプレスから報告があったが、ここでは 1 件として計上（以下の表では別々に計上）

表 1：事業者別報告件数

JAL グループ	ANA グループ	日本貨物 航空	スカイマーク	北海道 国際航空	スカイネット アジア航空	スターフライヤー	その他	計
370	288	25	54	19	80	34	18	888

表 2：機種別報告件数

B737	B747 (在来)	B747 -400	B767	B777	A300 -600	A320	DC-9	DHC-8 (-400 除く)	DHC-8 -400	CRJ	ERJ 170	SAAB 340B	その他	計
279	2	92	158	82	30	67	36	15	42	36	24	14	11	888

表3：安全上のトラブルの内容別分類件数^{注2)}

機材 不具合	ヒューマンエラー						回避操作		鳥等の外来物 による損傷	被雷	その他	計
	運航	客室	整備	地上 作業	設計 製造	その他	TCAS ^{注3)}	GPWS ^{注4)}				
394	46	12	27	2	8	5	234	30	57	53	16	884
	100						264					

注2) 分類別の件数は、今後の要因分析の進捗により変更されることがある。

注3) 航空機衝突防止装置の回避指示に基づく回避操作を表す。

注4) 対地接近警報装置の指示に基づく回避操作を表す。

3. 安全上のトラブルの評価・分析と今後の対策

第7回航空安全情報分析委員会において、平成21年度の安全上のトラブル等について審議した結果、それぞれの事案について、関係者により必要な対応がとられており、引き続き適切にフォローアップを行っていくべきことが確認された。

また、今後とも、安全上のトラブル等の情報等の分析に基づき、機材不具合への対応、ヒューマンエラー防止への取組み、TCAS RA や GPWS による回避操作に係る情報の共有を進めていくとともに、航空会社から報告される航空安全情報の効果的な分析及びそれに基づく対策の検討について可能なものから順次実施していく必要があるとの評価を受けている。